９　次の文章を読んで、後の問に答えよ。　　　〈筑波大〉二〇二一年度出題

　三条の右の大臣、中将にいますかりける時、祭の使にさされていでたちたまひけり。通ひたまひける女の、絶えて久しくなりにけるに、かかることにてなむいでたつ。扇もたるべかりけるを、さわがしうてなむ忘れにける。ひとつたまへ」といひやりたまへりけるよしある女なりければ、よくておこせてむに、色などもい清らなる扇の、香などもいとかうばしく。ひき返したる裏のはしの方。

［Ａ］ゆしとて忌むとも今はかひもあらじ憂きをばこれに思ひ寄せてむ

とあるを見て、あはれとおぼして、返し、

［Ｂ］　ゆゆしとて忌みけるものをわがためになしといはぬはたがつらきなり

（『大和物語』による）

〈注〉　ゆゆしとて＝扇は、秋風が吹けば捨てられるものであることから、男女のあいだでとりかわすことを嫌う場合があった。

問１　傍線部分（１）「かかること」の内容を具体的に説明せよ。

問２　傍線部分（２）「よしある女」、傍線部分（３）「清らなる扇」の意味を答えよ。

問３　波線部分（ア）「思ひたまひける」、波線部分（イ）「おこせたる」、波線部分（ウ）「書きたりける」の主語は、Ⓐ「三条の右の大臣」、Ⓑ「女」、どちらであるか、次の組みあわせのうち、正しいものを数字で答えよ。

①　Ⓐ・Ⓑ・Ⓑ　　②　Ⓑ・Ⓐ・Ⓑ　　③　Ⓐ・Ⓐ・Ⓑ

④　Ⓑ・Ⓐ・Ⓐ　　⑤　Ⓐ・Ⓑ・Ⓐ　　⑥　Ⓑ・Ⓑ・Ⓐ

問４　Ａの歌で、「憂き」と言っている詠み手の心情を説明せよ。

◎問５　Ｂの歌を、現代語訳せよ。

【解答と採点基準】

問１　賀茂の祭りの使いに選ばれたということ。

「選ばれた」「指名された」という意味であればよい。「なった」としているものは減点４。「賀茂の祭り」を欠くものは減点２。

問２　（２）＝奥ゆかしく趣深い女

「情趣を解する女」なども可。

　　　（３）＝美しい扇

問３　①

問４　Ａ三条の右大臣に、別れの象徴である扇を求められ、Ｂすでに捨てられた身である自分が、Ｃいまさら渡すのをためらっても仕方がないが、Ｄせめてつらさを扇に託して訴えたいという気持ち。

Ａ＝２〔扇の意味に言及していること。〕

Ｂ＝３〔「三条の右大臣が通わなくなって久しい」などの表現でも可。〕

Ｃ＝３〔「かひもあらじ」を訳していること。〕

Ｄ＝２〔つらい気持ちを扇に託すという内容であること。〕

問５　Ａ不吉だと忌み嫌われたという扇なのに、Ｂ私のために「そんなものはない」とおっしゃらないとは、Ｃ誰が冷淡であるというのか、あなたのほうが冷淡なのではないか。

Ａ＝３〔「ける」＝過去の意味で訳していなければ減点１。「ものを」を逆接に訳していないものは減点１。〕

Ｂ＝３

Ｃ＝４〔「冷淡だ」「薄情だ」などと訳していること。「あなたのほうが冷淡なのではないか」はなくてもよい。〕

【現代語訳】

　三条の右大臣が、中将でいらっしゃった時に、賀茂の祭りの使いに指名されてお出かけになった。（以前）通っておいでになった女で、行かなくなってから久しくなってしまった人（の所）に、「このようなことで出かける。扇を持っていなければならないのだが、いそがしくて忘れてしまった。一本ください」と（使いをやって）言い送りなさった。問２（２）奥ゆかしく趣深い女だったので、きっと立派なものに仕立てて届けてくるだろうとお思いになっていたときに、色などもたいそう問２（３）美しい扇で、かおりなどもたいそうすばらしいものを届けてきた。（それを）裏返した裏の端のほうに（歌が）書いてあった。

　（男女の間柄で扇を贈物にするのは）不吉であると忌み嫌っても、（すでに捨てられた身である）今の私には、かいもないでしょう。つらい気持ちをこの扇に託して訴えよう。

とあるのを見て、（三条の右大臣は）しみじみと心打たれなさって、返事の歌（をおくった）、

　問５不吉だと忌み嫌われたという扇なのに、私のために「そんなものはない」とおっしゃらないとは、誰が冷淡であるというのか、あなたのほうが冷淡なのではないか。